

2022年大阪多喜二祭

挨拶する

佐野彰義府本部副会長



大阪版

No. 481

発行所

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034

東京都文京区湯島 2-4-4
平和と労働センター 全労連会館

大阪府本部

〒543-0045

大阪府天王寺区寺田町 2-6-2
東大阪 (ARK) ビル 3FTEL・FAX 06-6772-7555
振替 00910-6-53293

E-mail

tidouosk@opal.plala.or.jp

大阪版ブログ URL

http://doumeinews.exblog.jp/

ロシアはウクライナから全面撤退せよ

ロシアのウクライナ侵略により建物
が爆破され、原型をとどめず、消火活
動にあたる人。夫と離れた母親たちが
子どもの手を引いて、列をなして長時
間をかけて国境を越えてポーランドに
避難。雪のちらつく中、ボランティヤ
たちから食事の施しをうけ、更に欧州
の国々へと120万人近くが逃れてい
く。国内の避難所で5人の子どもが生
まれ、物資もなく困窮していると伝え
られている。ウクライナ国民の惨状は
涙なしには見られない。元俳優でコメ
ディアン・ウクライナ大統領は、アメ
リカが安全に逃げるルートを保証した
が、自分は首都キエフに残ると断言し
た。世界から孤立したプーチン大統領
は、核で威嚇し、4日は原発まで攻撃
を占拠した。何としても国際世論で攻撃
を中止させねばならない。

ロシアは誤報を流したマスコミは処
罰すると発表し、BBC放送など海外
メディアは、職員の安全が最優先と早々

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

に立ち去った。

3月2日の国連総会緊急特別会合
では、ロシアによるウクライナ侵略
は国連憲章違反だと断定し、ウクラ
イナでの武力停止、軍の「即時、完全、
無条件撤退」をロシアに求める非難
決議を圧倒的多数で採択した。決議
の共同提案国は、日本を含む96か
国に上り、賛成したのは141か国、
反対はロシア、ベラルーシ他五か国
である。決議は、ウクライナの主権
と領土の保全への支持を再認識し、
ロシアのウクライナ侵略について「最
も強い言葉で遺憾の意を表す」とし
ている。「日本維新の会」の「ロシア
によるウクライナ侵略に関する緊急
提言」では、「核共有による防衛力の
強化の議論など開始する」などと明
記している。国是とする「非核三原則」
や「平和憲法」を今こそ大きく掲げ
ていくのではないか。

(会長 大石喜美恵)

「不屈」バックナンバーで40周年を振り返る その1

●1982年4月5日号 (NO.1)

準備会を経て3月13日 大阪府支部を結成

私たちの申し合わせ

→ 私たちは、戦争と治安維持法の問題を具体的に旺盛に宣伝し、歴代の自民党政府の戦争責任を徹底的に追求し、再び軍国主義復活を許さない断固たる決意をもって、犠牲者の国家賠償を要求して、遺族や関係者をはじめ広範な人々と結合してたたかいます。

1 わが同盟の独自活動である国会請願署名運動を精力的にすすめます。

2 「今も生きている治安維持法」パンフレットの普及をはかります。

3 治安維持法はもちろんのこと、戦後の国家権

力による弾圧事件についても犠牲者を中心に、運動の調査、発展、記録をすすめ、機関紙などで発表します。

●1982年8月15日号 (NO.5)

会員200名突破!

1982年10月15日号 (NO.7)

不屈の反戦平和の戦士 阪口喜一郎の顕彰(碑の建立など)運動に参加しましょう

●1982年12月15日号 (NO.9)

会員400名突破

●1983年1月15日号 (NO.10)

パンフレット『代用監獄の研究』(年末完成)の活用を!

●1983年3月15日号 (NO.12)

会員500名突破

●1983年6月15日号 (NO.15)

6月4日第2回支部総会を開催、大阪支部から

大阪府本部に名称変更

●1983年9月15日号 (NO.18)

この号から、それまでの手書きから写植印刷になる

●1983年10月15日号 (NO.19)

会員700名突破

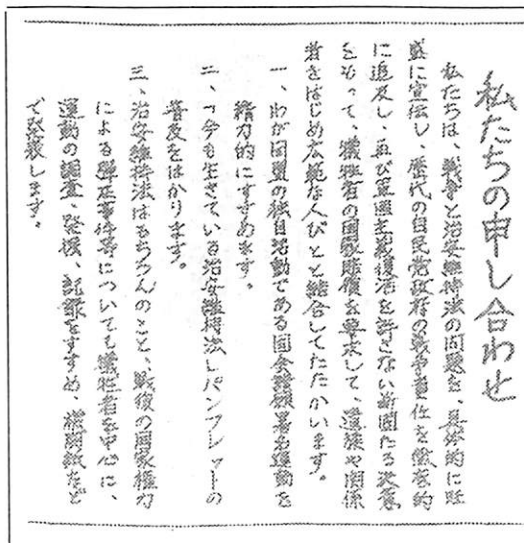
●1984年4月15日号 (NO.26)

国会請願署名20,000達成、会員1,000名にあと80名と迫る!

●1984年8月15日号 (NO.30)

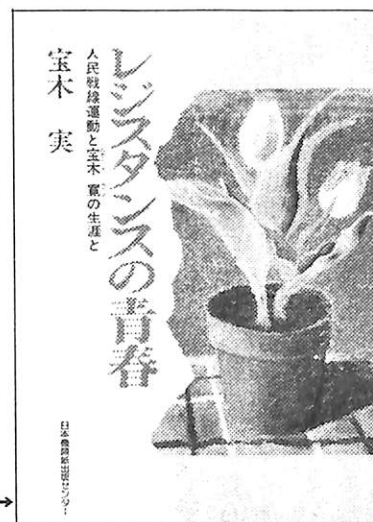
『不屈』大阪版に連載された「葦のうた」が単行本に

「レジスタンスの青春—人民戦線運動と宝木寛の生涯と」 →



阪口喜一郎 顕彰碑

(泉南市黒鳥山公園)



私たちの申し合わせ

私たちは、戦争と治安維持法の問題を、具体的に旺盛に宣伝し、歴代の自民党政府の戦争責任を徹底的に追求し、再び軍国主義復活を許さない断固たる決意をもって、犠牲者の国家賠償を要求して、遺族や関係者をはじめ広範な人々と結合してたたかいます。

一、わが同盟の独自活動である国会請願署名運動を精力的にすすめます。

二、今も生きている治安維持法パンフレットの普及をはかります。

三、治安維持法はもちろんのこと、戦後の国家権力による弾圧事件についても犠牲者を中心に、運動の調査、発展、記録をすすめ、機関紙などで発表します。

3月のスローガン 『ロシアはウクライナから撤退せよ、戦争と暗黒政治を許さない、大きな同盟を建設しよう!』

佐野副会長挨拶

冒頭ロシアのウクライナ侵攻を糾弾する「決議文」を採択し、豊中にある領事館に郵送することを決議した。(決議文を掲載)

甲斐事務局長報告

中央常任理事会の報告は、①増本中央本部会長が亡くなられたので、6月の大会まで東京都本部会長の吉田万三さんが代理を務める。②亡き増本会長の遺志を引き継ぎ、6月の大会までに全国2万人同盟を建設しよう。大阪府本部は7月大会までに2100人の同盟を復活しよう。③5月11日の国会請願に大阪府本部は最低1万筆を持って参加しよう。

府下全議員に「仲間ふやしと署名集めに協力せよ」という手紙を送っている、3月議会終了次第議員を訪ねて支部から直接訴えること。

討論

●池田・箕面(佐々木)：署名を5月までに何としても1万筆にしよう。2000名の会員で一人5筆はとても低い目標だ。5月8日に荻野先生を招いて学習会を開催する。カジノ誘致は住民が決めることだ、各行政区で運動が進めば参加して行きたい。

●北・福島(横山)：コロナ感染者が同盟の身近で広がっている。重病者・死亡者も増えており大阪府にはしつかり対策をとって貰いたい。千代子の映画上映は各団体へ呼びかけをしている。署名は0の日が無いようにしていこうと声かけあつて集めている。

●高槻・島本(田中)：近プロでの「仲間ふやしは気軽に声かけあつて」を受けて一人一人会、もう一人予定。署名は集いがで

ロシアはウクライナから即時全面撤退せよ

プーチン大統領は、ウクライナ東部の親ロシア勢力支配地域の「独立」を一方的に承認し、ウクライナを侵略している。

国連加盟国の主権、領土保全を尊重するという国連憲章、国際法を蹂躪する暴挙を許すことはできない。国連事務総長も国際社会も一斉に非難している。

三月一日の衆議院本会議では、「ロシアによるウクライナ侵略を非難」する決議をした。力による一方的な現状変更は断じて認めないとして、欧州のみならず、アジアを含む国際社会の根幹を揺がしかねない極めて深刻な事態であり、本院はロシア軍による侵略を最も強い言葉で非難すると表明した。

ロシア国内でも、日本でもプーチンを批判するデモが行われている。

「再び戦争と暗黒政治を許さない」と闘ってきた五十年の歴史をもつ同盟は、今こそこのスローガンを高く掲げてロシアの侵略戦争を阻止する決意である。

ロシアはウクライナから即時全面撤退せよ。

2022年3月5日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部

〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町2-6-2 ARKビル3階

TEL・FAX 06-6772-7555

●枚方・交野(大島)：署名ゼロの月を無くそうと取り組んでいる。若い人への伝える努力が必要と感じている。

増本一彦会長逝去

ご冥福をお祈りします。増本氏は1972年神奈川3区から衆院議員に当選(1期)、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部会長を長年務めました。



アンケートに寄せられた感想

第二部 藤田廣登氏の記念講演について

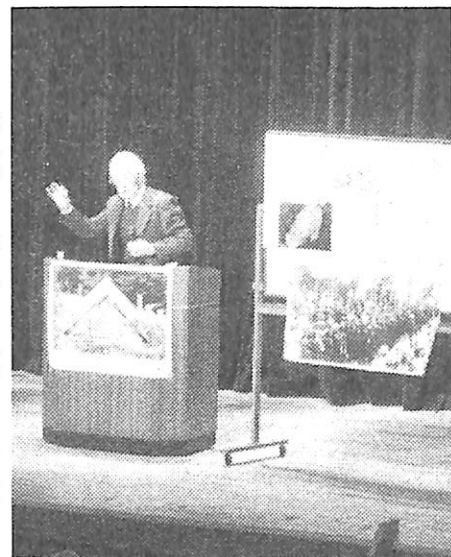
- *「研究者のほとんど初めてで、こういう方の業績が本当に貴重なのだと実感しました。普段の不勉強を感じましたが、少しでもふれることができました。」
- *「すばらしいの一語につきます。調査もすばらしいが語り口も大変よかった。もっと聞きたいと思っています。」
- *「映画の上映運動成功することを訴えます。多喜二と大阪が結びついていたのを始めて知りました。」
- *「勇気を与える気力のこもったお話でした。最後まであきらめない人生を通したい。多喜二の著作を新たな視点で読んでみたい。千代子の映画も広めたい。」

2022年大阪多喜二祭

アンケートに寄せられた感想

第一部文化行事

- *「歌と朗読でつづる伊藤千代子」について
「歌と朗読でつづる伊藤千代子」については少ししか知らなかったけれど、じわじわと心の中にしみこんでいきました。朗読と歌も本当によかったです。」
- *「名前は知っていたが、詳しい事は知りませんでした。初めての事で大変感動しました。このような女性がいれば誇りに思います。」
- *「千代子の映画楽しみにしています。多喜二はとも有名ですが、千代子はあまり知られていないので、クローズアップされることを望んでいます。」
- *「ケイ・シユガーさんの歌声すばらしいです。大らかでクリアで強いメッセージを感じました。」



←「千代子」の原作者 藤田廣登さん講演

↓多喜二をテーマにした歌からは、澄んだ歌声のなかに、力強いメッセージとエネルギーを感じました。

第二部の記念講演では、今年公開される映画『わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯』の原作者である藤田廣登さんが、千代子の人物像をはじめ、映画製作の裏側や、多喜二と大阪との知られざる関係などを丁寧によくわかりやすく話されました。藤田さんの講演を聞いて、五月に公開される予定の千代子の映画がさらに楽しみになりました。

昨今新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、経済的な格差はますます広がっています。さらに、海外に目を向けてみると、国際的に非難されているにもかかわらず、ロシアはウクライナへの侵略を開始しました。このような国内外の情勢だからこそ、若くして非業の死を遂げた小林多喜二や伊藤千代子の志を学ぶことの意義を改めて実感しました。(上山)

新刊紹介

『神戸平民倶楽部と大逆事件』

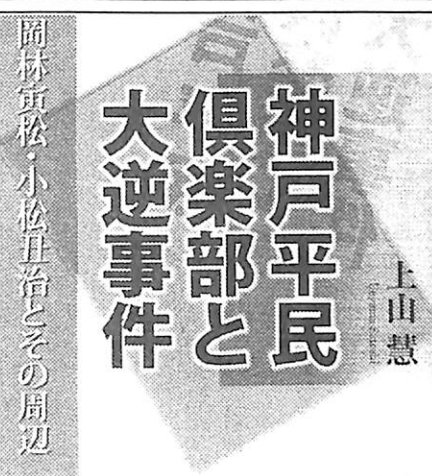
岡林寅松・小松丑治とその周辺』を出版して

上山 慧

一九一〇(明治四三)年の大逆事件で、検事総長代理として捜査の指揮をとった平沼騏一郎は、自らの『回顧録』に「被告は死刑にしたが、中に三人陰謀に参与したかどうか判らぬのがある。死刑を言渡さねばならぬが、ひどいと云ふ感じを有つてゐた」と記しています。この三人について、大逆事件研究の第一人者

である神崎清氏は、自供のとなつた坂本清馬と、証拠がなくて検事局が最後まで起訴をためらった神戸の岡林寅松と小松丑治ではないかとしています。

本書は四部構成となっており、第一部は神戸における社会主義運動のはじまりから結成当初の「神戸平民倶楽部」の活動、第二部では日露戦争終結後の「神戸平民倶楽部」の活動、第三部では俱楽部員である岡林寅松と小松丑治が連座した大逆事件の検証、



神戸における社会主義運動のはじまりと警察、社会主義組織「神戸平民倶楽部」の活動、俱楽部員である岡林寅松・小松丑治らと大逆事件の関係について、記録調査・先行研究・新資料をもとに7年がかりで完成。大逆事件発覚から110年、全国各地で連座者の名誉回復・顕彰運動が続けられるなか、事件の真実の一端をあきらかにする。

第四部では事件後の俱楽部員やその関係者の生き方をテーマとしています。また、資料編では、週刊『平民新聞』などに掲載された「神戸平民倶楽部」の活動記録や、今回新たに高知県で発見したスクラップ帳『藻屑籠』に所収されている「幸徳秋水 大逆事件の同志 岡林寅松と語る」を収録しています。

私が「神戸平民倶楽部」や岡林寅松と小松丑治について関心を抱いたのは大学院修士課程の一回生のころでした。それから本書を完成させるまでに足かけ七年もかかりました。とくに、『藻屑籠』の発見は、その最後のピースを埋めるような感じでした。

最後に、今回の著書の出版を記念した講演会が、四月三〇日(土)午後二時から神戸学生青年センターウエスト100で行われます。ぜひご参加ください。

◇定価2500円 ◇アマゾンなどのインターネットショップ、もしくは各地の書店で購入できます。

創立40周年記念行事の一環として、右の本を増刷します
同盟名誉会長・柳河瀬精(やながせただし)氏の力作です。4月には販売を開始できます。

戦後の反動潮流の源泉
特高官僚
柳河瀬精

2022年大阪多喜二祭に参加して

2月27日にクレオ大阪東で多喜二祭が開催され、スタッフのひとりとして参加しました。

第一部の文化行事「歌と朗読でつづる伊藤千代子」では、千代子の生涯が彼女の事を知らない方でもわかりやすくスクリーンで紹介されました。また、ケイ・シユガーさんの千代子と



女性の闘

森友問題を認諾で終わらせないで

八尾支部 松本光子

2017年2月に豊中市の国有地売却にかかわった安倍首相(当時)と昭恵夫人のうそや不正を隠すための公文書の改ざんを強いられた近畿財務局の職員、赤木俊夫さんは翌年3月自殺されました。妻の雅子さんは嘆き悲しむ中で夫がなぜ自殺をしなければならなかったのかその真実が知りたいと国と佐川氏を相手に告訴されました。ネットではたちまち35万人もの人たちが賛同の署名を寄せられたそうです。

わたしたち日本共産党八尾女性後援会でも「赤木雅子さん、森友裁判私たちは心から応援しています。・・・云々」という寄せ書きの布を作り応援することになりました。あちこちにお願ひして短期間で95人の署名が寄せられました。この署名は、赤木裁判担当の松丸正弁護士にお願いして、赤木裁判の開かれる2月17日に赤木さんに手渡して

いただくことになりました。翌日電話で松丸さんにお礼を言う「赤木さんはありがとうございました。と言われました。」と仰いました。赤木さんに私たちの声が届いたのです。2回目の裁判の時にもまた寄せ書きを2枚の色紙にして届けました。

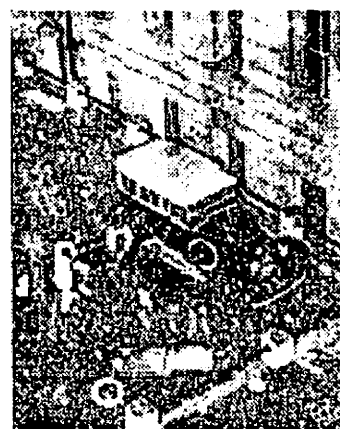
その後2021年12月17日マスコミで「赤木裁判は認諾という形で終了しました。赤木さんには1億1千万円満額支払われます。」という報道がありました。赤木さんの告訴の言い分は全部ききます、賠償金は全額払います。だから裁判は終わります。ということですが。赤木さんは「不意打ちです。あまりにひどい。」と怒りのコメントを発表されました。八尾女性後援会は、赤木さんと一緒に、森友問題を認諾で終わらせないでほしいという続けたいと思います。(日本共産党八尾女性講演会)

大阪府内の治安維持法犠牲者名簿から(女性)

字数の関係上一部省略しています。あいうえお順です。(No8) (女性部部长 柴田 雅子)

- 坂口 しな(さかぐち しな) 本籍は兵庫県。高等小学校卒。全協医務労働組合に所属。日本共産党のレポーターや資金集めに協力する。1933年(昭和8年)11月6日検挙、12月14日起訴される(看護婦・19才)。
- 佐藤 富子(さとう とみこ) 佐藤 修一・神山茂夫ら旧全協刷新同盟を中心とする党再建関係として24名とともに警視庁に検挙される(商店事務員 26才)。
- 浅敷 よし子(さんじき よしこ:浅敷 ジェセフィン) 1902年(明治35年)8月2日生まれ。1992年(平成4年)2月10日死去(89才) 出身は北海道札幌市。日本女子大学社会事業学科卒。岡山県倉敷紡績万寿工場寄宿舎の女工千名以上の教化係となる。30年に8時間労働等の待遇改善を要求し10

日間のストを指導、女工120名と共に解雇される。1932年(昭和7年)11月に日本共産党に入党し、大阪から京都へ地下活動を引き継ぐ。前任者は桑原英武。党京都市委員会再建オルグとして活動する。1933年(昭和8年)3月13日検挙、5月22日起訴される(浅敷 ジェセフィン:無職22才) 懲役2年6ヶ月の判決を受け、札幌の刑務所で服役。出獄後、東京御殿山病院に見習い看護婦として住み込み、36才で看護資格をとる、1941年(昭和16年)愛媛県に赴任し、保健資格も取得。県の結核予防撲滅運動に動員される。1945年(昭和20年)3月労働科学研究所で暉俊義等所長と道後温泉で会い、「満州開拓団の結核予防に力を貸してほしい」と言われて中国へ終戦後、中国政府の要請により、長春郊外の大房身保険院等に13年間赴任し、中国革命に参加。



血に染めて格闘場を歩く即死

主要人物 鮎田 府邸から飛降り自殺

鮎田謹一の本籍は熊本県天草郡楠浦村。生年は不詳。1926年頃から静岡県清水市を中心に評議会清水合同労組や無産青年同盟で活動しています。29年4月15日、伊東町で行われた政治的自由獲得同盟主催第1回演説会に応援で参加し、検挙されます。4・16の一環でしよう。この時拷問され、片手片足が不自由になります。しかし

1931年8月26日、京阪神地方の日本共産党に対していつせいに弾圧が行われました。その日の弾圧を免れた鮎田は、連絡が切れ、久しぶりに大道宅に寄り、俊に「危ないですよ」「永い間御世話になり申し訳ない。な

んのむくいもできず」と言い、淋しそうでした。9月24日、府特高は検挙した者から得た情報をもとに大阪市北区(今の都島区)善源寺町の下宿を襲い、不在のため家宅捜索し党や全協の文書を押収しました。特高は室内に潜み、鮎田が帰宅したところを襲います。抵抗する鮎田を2人がかりで逮捕、府特高課に連行します。鮎田は、氏名や全協日本電気支部責任者であることなどを自供。いったん地下の留置場に収容されたのち、午後6時40分頃、再び取り調べのために6階特高課労働係室へ連行されます。そのとき、警官のすきを見てあいていた窓から飛び出し地面にたたきつけられたといっています(警察発表をもとにした新聞記事による。『大阪時事新報』は24日、『大阪朝日』『大阪毎日』は25日とする)。即死(朝日)とも、府庁横の病院で応急手当を受けたが脳底骨折で施すすべもなかった(時事)とも。家族に遺骸をおくるべく本籍に電報を打ちましたが家族は台湾にいるとのことで火葬して遺骨を送付したといっています。この時28歳。鮎田の知人らは特高に虐殺されたと書いています。しかし、白川芳松の手記をみて真相はどうだろうと考えます。党兵庫県委員会の再建中に8・26で検挙された白川は拷問で失神したのち、意識を回復。「虐殺の辱めに甘んじるよりも潔く自決の道を選ぼう、と心に決めた」と3階から身を投げましたが、電線に足がひっかかり転落して一時意識不明となったものの、一命をとりとめたといっています。密室での真相はわかりません。直接の死因が何であれ、弾圧により命を奪われたこと、戦争と庄政に抵抗した人たちの願いに思いを寄せ、あとを受け継ぎ、次につなげたいと思います。(敬称略)

※犠牲者名簿の「弾圧により亡くなった人々」(431頁)から、事績を詳しく紹介します。

読者の文芸

俳句

春北風 はるならい

安村

和義

春北風くにの言の葉乾ききる

きな臭き答弁ばかり初音待つ

いのちなど国は守らず蜆汁

憲法を抜かれし「復帰」うりずん南風 ほえ

春めくや口笛ひようと空放つ

短歌

武田

俊郎

ロシアによるウクライナ侵攻に怒りを込めて抗議

領土の野望のために侵略するロシアに世界の抗議広がる

ついに出了た、ロシアの暴挙を口実に維新は日本の核武装言う

『不屈』編集部では、創立40周年を記念する記事を募集しています。40年前は「ああだった、こうだった」とか「どんな苦労があった」「こんな楽しいことがあった」等々、写真を添えて頂けるととても有り難いです。

川柳

〈鶴彬・この一句〉(88)

岩佐 ダン吉

吸いに行くー姉を殺した綿くずを

・一読明瞭な川柳だが、そんな劣悪な工場にも行かざるをえない農村の疲弊と過酷な労働。かくして彬の故郷、石川県の結核死亡率は全国一(1922~1942)。

〈私の時事吟〉

核の威嚇あのプーチンに学ぶもの

2月28日現在

会 員	1,944名
個人署名	3041筆
団体署名	45団体

投稿のお願い

「不屈」はみなさんの機関紙です。身近な出来事・国賠同盟に対する意見やメッセージ・写真・イラストなど、お寄せください。

5月26日 フィールドワーク

京都・宇治で、ウトロ地区・山本宣治碑・

ユンドンジュ詩碑を巡ります。

詳しくは、折り込みチラシをご覧ください。

「つぶやき」

2022年大阪多喜二祭は大成功のうちに幕を閉じました。時あたかもロシアのウクライナ侵略という状況の中でした▼どこかに紛れて維新の会は核の共有を論議せよなどと恐ろしいことを言い始めました▼戦争反対、平和と民主主義を求めて闘った多喜二の思いをつなぎ、火をつけないで勝ち取った平和と憲法9条に真つ向からキバを剥く論議です▼ロシアの蛮行を利用した為政者たちの様々なたくらみが、様々なかたちで私たちを、子どもたちを襲つて来ます。それを何の批判もせずに垂れ流すマスコミ、特に報道がヒドイ▼ニュースを聞いていると国際的な話し合いや論議では平和を守ることが出来ない。やっぱり軍備は必要だ、予算をもっと増やそう。ということを前提に報道しています▼育鵬社の教科書で育った若い人たちは、こんな報道を批判的に読み解くことができるのでしょうか。とても心配です。

(甲斐)